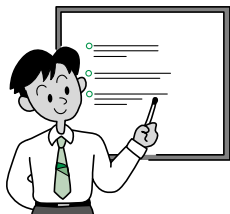


# 山武市「4つの財務書類」を公表します

平成18年6月に成立した「行政改革推進法」を契機に、地方の資産・債務改革の一環として「新地方公会計制度の整備」が位置づけられました。これにより、地方公共団体は、国が示す「基準モデル」または「総務省改訂モデル」を選択し、発生主義・複式簿記の考え方に基づき、財務書類を作成することになりました。山武市は「基準モデル」を選択し、平成20年度決算について、関係する各組合（山武郡市広域行政組合、旧国保成東病院など）の財務書類と連結させた連結財務書類を作成しました。



※「基準モデル」と「改訂モデル」

「基準モデル」はすべての固定資産をリストアップし、公正価格（減価償却など）で評価しますが、「改訂モデル」は段階的に固定資産を評価します。

## バランスシート(貸借対照表)

貸借対照表は会計年度末時点において、資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目でわかるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債および資産と負債の差額である純資産を計上しています。

資産の部(これまで積み上げてきた資産)			負債の部(将来世代が負担する金額)		
1 公共資産	(1)事業用資産 庁舎、保育所、学校、 保健センターなど	350億2千万円	1 固定負債	(1)地方債	290億2千万円
	(2)インフラ資産 道路、公園、上下水道など	847億1千万円		(2)退職手当引当金等	66億6千万円
2 投資等	(1)投資および出資金	22億8千万円	2 流動負債	(1)翌年度償還予定地方債	34億3千万円
	(2)基金等	134億3千万円		(2)その他	32億3千万円
			負債合計		423億4千万円
3 流動資産	(1)資金	47億4千万円	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)		
	(2)未収金など	40億6千万円	純資産合計		1,019億円
資産合計			負債および純資産合計		1,442億4千万円

※連結した各組合のバランスシートは「基準モデル」と「改訂モデル」があります

### 資産とは？

バランスシートの項目にあるような施設や道路、基金、現金などです。市民の皆さんにこれから提供する行政サービスの基になるものです。資産が多くなることで、より良い行政サービスの提供ができます。

### 負債とは？

資産にあるような施設の整備のために借りた借金の返済金や市職員の退職給与引当金(現在の市職員が退職したと想定した場合の必要な退職金)です。負債が多ければ、財政状況が厳しくなります。